ATOK Xの紹介

- 『それ』がわかるATOK 2
- 快適な変換を実現する高度な日本語処理技術 3
- リアルタイムに文書校正を支援 4
- 入力をサポートする便利な機能 6
- 今までに使用しているATOKの辞書の活用方法 9

『それ』がわかるATOK

◆文脈解析変換

入力した文章の分野を自動的に判断し、文脈情報に基づいた同音語処理を実現しています。

現在、コンサートホールではピアノコンクールが行われている。
各国から集まったピアニストたちが熱演を繰り広げているところである。
いよいよ次は最後の奏者だ。

このレースも終局を迎え、ゴール地点の競技場もすぐそこに迫っている。
しかし依然勝負は見えず、各チームの監督たちも気をもんでいる。
いよいよ次は最後の走者だ。

◆指示詞の照応関係の解析

文脈解析変換をさらに強化し、文章中の指示詞（これ、それ、あれ、この、その、あの、他）と、それらが指し示す言葉との関係を適切に判断して、同音語を正しく識別します。

今日の授業の問題で一つだけとても難しいものがありました。
○　はじめにそれを解いたのは私の友人でした。
×　はじめにそれを説いたのは私の友人でした。

■「それ」が「授業の問題」を指すことを認識し、「解いた」に正しく変換します。

来年度中に大幅な減税が実施される予定です。
○　その政策で国民の負担は多少軽くなるはずです。
×　その制作で国民の負担は多少軽くなるはずです。

■「その」が「大幅な減税」を指すことを認識し、「政策」に正しく変換します。

私は中学校で理科を教えています。
○　この教科に興味を持たせるために多くの実験を取り入れています。
×　この強化に興味を持たせるために多くの実験を取り入れています。

■「この」が「理科」を指すことを認識し、「教科」に正しく変換します。

快適な変換を実現する高度な日本語処理技術

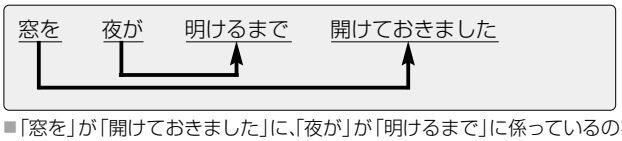
◆格フレーム処理

文章の差異による同音語の違いを的確に判断して変換します。

そのせいふくがかのじょにあう ⟶ その制服が彼女に合う
そのせんせいがかのじょにあう ⟶ その先生が彼女に会う

◆係り受け関係の解析

それぞれの文節が文章のなかでどのような係り受けになっているかを解析し、高い変換効率を実現しています。



■「窓を」が「開けておきました」に、「夜が」が「明けるまで」に係っているのを正しく認識します。

◆文節区切りの判断

構文意味解析により、判断しづらい文節の区切りも的確に判断します。

きょうははをけずられた ⟶ 今日は/歯を/削られた
きょうははをたずねた ⟶ 今日/母を/訪ねた

■「削られた」「訪ねた」の動詞の違いにより、文節の区切りを正しく判断しています。

◆数詞交じり文章の判断

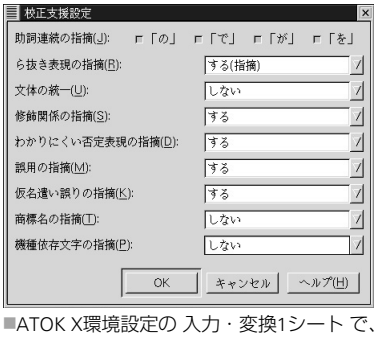
数詞交じりの文章で、前後の関係から助数詞の表記を的確に判断します。

ミュージカルの第1次選考会が午後1時より始まります。
ホテルの2階で第2回懇親会が開かれます。

リアルタイムに文書校正を支援

◆JUST MEDDLER2(ジャストメドラー2)

入力・変換する時点で文章をチェックし、正確な文章の表現をサポートするJUST MEDDLER2を搭載しています。
「ら抜き表現の使用」「文体の統一」「同一助詞の過剰な連続」「修飾関係のあいまい性」「わかりにくい否定表現」「誤用」「仮名遣い誤り」「商標名」「機種依存文字」をチェックし、メッセージで注意を促します。



■ATOK X環境設定の 入力・変換1シート で、校正支援 をオンにして設定します。

同一助詞の過剰な連続
「昨日の私の電話の相手の…」というように同じ助詞の過剰な連続があった場合にメッセージを表示します。

ら抜き表現の使用
「食べられる」を「食べれる」と表現するなど、「ら」が抜けている場合に指摘します。設定によって「指摘する」「表現を訂正する」「何もしない」を選ぶことができます。

文体統一の不一致
「良い本ですので読むべきだ」など、「です·ます調」と「だ·である調」が混在して入力された場合にメッセージを表示します。

修飾関係のあいまい性
「青いかごの中の小鳥」など修飾関係があいまいな場合にメッセージを表示します。

わかりにくい否定表現
「考えていないことはない」「検討しないとは考えていない」など、否定の連続があった場合にメッセージを表示します。

誤用の指摘

まちがえやすい慣用句やことわざを指摘し、正しい用法を表示します。

的を得る 《「当を得る／的を射る」の誤用》

仮名遣い誤りの指摘

昭和61年内閣告示の「現代仮名遣い」に基づいて、まちがえやすい仮名遣いの誤りをチェックし、正しい仮名遣いを表示します。

みじか ⟶ 身近 《「みぢか」の誤り》
うでづく ⟶ 腕づく 《「うでずく」が本則》

商標名の指摘

一般名詞とまちがえやすい商標・商品名を指摘します。一般的な名称がある場合は、それを置換候補として表示します。

機種依存文字の指摘

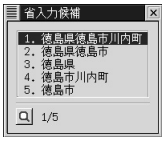
外字や①など、JIS規格外の文字で、使用するコンピュータによっては見えなくなったり文字化けしたりしてしまう機種依存文字を指摘します。

入力をサポートする便利な機能

◆以前入力した文字列を短い読みで変換できます

一度入力した文字列を短い読みで変換して、効率的に入力することができます。
文字列を入力した際に途中で変換した・しないにかかわらず、意味的にまとまりのある候補から、選択して入力できます。確定した候補は学習されるので、コンピュータを起動しなおしても、引き続き短い読みで変換できます。

▶ P.28 以前に入力した文字列を短い読みで再入力する／省入力



◆入力した文字列を履歴から繰り返し入力できます

文字列を確定した後に同じ文字列を未確定の状態で入力できます。ATOK Xでは、直前に入力した文字列だけでなく、最近確定した文字列も履歴から選択して入力できます。

▶ P.29 以前に入力した文字と同じ文字を再入力する／確定のリピート

◆変換候補を並べ替えて目的の文字列をすばやく探せます

候補ウィンドウに表示される変換候補を、先頭文字または末尾文字が同じ単語で並べ替えられます。人名など変換候補が多い場合に、便利な機能です。

▶ P.32 候補の表示順を並べ替える

■並べ替え前

■先頭文字並べ替え

■末尾文字で並べ替え

◆文字を半角または全角に統一できます

文字の種類ごとに、半角・全角のどちらに変換するかを指定できます。入力中の文字や、後変換での表記を統一することもできます。

※ATOK X 環境設定の 入力・変換1シート で、半角全角変換 をオンにしている場合に有効です。
▶ P.30 入力した数字を自動で半角にする

◆単語にコメントや置換候補を設定できます

特定の語句が入力された場合に、メッセージが表示されるように設定しておくことができます。禁止用語や登録商標、常用漢字外の漢字などの入力の注意や、置換候補として電子メールの宛先を登録しておくなど、いろいろな応用が可能です。

※ATOK X 辞書ユーティリティの 一覧編集シート からコメントを編集できます。
▶ P.35 単語にコメントを設定する

◆視覚的に文字や記号を検索できます

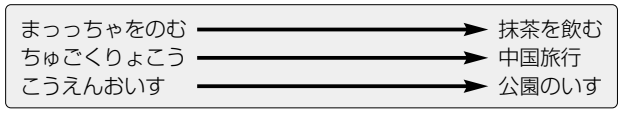
文字パレットを使うと、記号の一覧から選択して入力したり、部首、総画数、読みなどの検索条件をもとに、わかりやすく漢字を検索したりすることができます。検索条件を複合して設定することも可能です。

▶ P.39 記号の一覧から選んで入力する
▶ P.40 読み方のわからない漢字や難しい文字を入力する

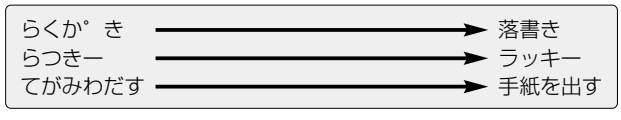
◆入力ミスを自動的に修正します（JAC）

ローマ字入力時のアルファベットの入力ミスや、カナ入力時の濁点・半濁点の入力ミスを自動的に修正し、正しいかな漢字変換を行います。

■ローマ字入力時



■カナ入力時



◆複数の辞書が同時に使えます

複数の辞書をまとめて、まるでひとつの辞書のような感覚で運用することができます。1個のシステム辞書、1個のユーザー辞書、そして4個までの補助辞書をセットで使うことが可能です。例えば、補助辞書には医学用語辞書や法律用語辞書など分野別の辞書を組み込んでおくと便利です。これが1つの辞書セットで、辞書セットは最大10セットまで設定しておくことができます。

▶ P.48 変換に使用する辞書を設定する

◆好みの操作環境に変更できます

キーの割付を、機能とキーそれぞれを基準に、一覧形式で確認して変更できるなど、キーカスタマイズが可能です。
また、ローマ字とかなの対応規則の設定では、母音が終端でなくても設定できます。
Shiftキーを押したまま文字キーを押すと英字入力モードに切り替わるように、設定することもできます。

▶ P.50 キー割付を設定する
▶ P.52 ローマ字とかなの対応規則を設定する

今までに使用しているATOKの辞書の活用方法

Linux版ATOK12 SEの辞書は、ATOK Xでそのまま利用できます。また、Windows版ATOK12やMacintosh版ATOK12の辞書もそのまま利用できます。

◆Linux版ATOK12 SE、Windows版ATOK12、Macintosh版ATOK12の辞書をATOK Xで使用する

Linux版ATOK12 SE、Windows版ATOK12、Macintosh版ATOK12で使用している辞書を、ATOK Xの環境にコピーして使用します。

/var/locale/ja/atokserver/users のログインユーザー名ディレクトリ以下に、使用したい辞書ファイルをコピーします。その後、ATOK X環境設定 の 辞書・学習シート でコピーした辞書ファイル名を設定します。

◆Windows版やMacintosh版のATOKの辞書をATOK Xで使用する

Windows版のATOK13/12/11/10/9や、Macintosh版のATOK13/12/11の辞書に登録していた単語を利用することができます。
テキスト形式で保存した単語ファイルをATOK Xで使えるように、ATOK X辞書ユーティリティで登録します。

※Windows版やMacintosh版のATOKに登録されている単語を単語ファイル(テキスト形式)として保存するときは、Unicodeで出力します。単語ファイルの作成方法は、Windows版やMacintosh版のATOKの各マニュアルまたはヘルプを参照してください。

▶ ヘルプ 辞書を使いこなす-Windows版などのATOK辞書を利用する

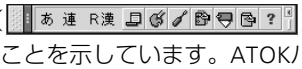
ATOK Xの基本操作

- 文字を入力してみましょう 11
- ヘルプを利用する 24

文字を入力してみましょう

ATOK Xを初めて使用される方のために、文字を入力したり、変換したりする、基本的な使い方について解説しています。実際に操作しながら学習していきましょう。

◆ATOK Xが使える状態になっているか確認しましょう

ATOKパレット()が表示されているとき、ATOK Xを使って日本語入力ができる状態であることを示しています。ATOKパレットが表示されていない場合は、Ctrl+スペースキーを押すと、ATOKパレットが表示され、日本語入力ができるようになります。Ctrl+スペースキーを押すごとに、日本語入力のオン／オフが切り替わります。
ATOK Xを使うには、ATOK Xのサーバーとクライアントが起動している必要があります。Ctrl+スペースキーを押してもATOKパレットが表示されないときは、ATOK Xのサーバーやクライアントが起動しているか確認します。

◆入力方法を選択しましょう

入力方法には、**ローマ字漢字入力（R漢）** と **カナ漢字入力（カナ漢）** があり、それぞれに特徴があります。まずどちらで入力するかを決めましょう。

ローマ字漢字入力
- 覚えるキーの数が少ない（A～Zまでの26個）
- カナの配列を覚える必要がない
- キーを押す回数が多い
  例：「きかく」と入力する場合、K I K A K Uの6個
- 押したキーと画面に表示される文字が異なる
  例：K Iとキーを押した場合、画面には「き」と表示される

カナ漢字入力
- 覚えるキーの数が多い（あ～んまでの45個）
- アルファベットを入力するときのために、アルファベットの配列を覚える必要がある
- キーを押す回数が少ない
  例：「きかく」と入力する場合、き か くの3個
- 押したキーと画面に表示される文字が同じ
  例：きキーを押した場合、画面にも「き」と表示される

初めてATOK Xをインストールした直後は、ローマ字漢字入力が選択されています。漢字入力モードをカナ漢字入力に変更したい場合は、次の手順で設定を変更します。

1. ATOKパレットの [環境設定] をクリック

ATOK X環境設定が起動します。

2. 入力・変換1 をクリックし、漢字入力モード で カナ漢 を選択する

3. OK をクリックする

4. Ctrl+スペースキーを押す

ATOK Xがカナ漢字入力モードで起動し、ATOKパレット( )が表示されます。

カナ漢字入力をするとき

カナ漢字入力をするときは カタカナ ひらがな キーを押して、 カタカナ ひらがな キーをロックした状態で入力します。 カタカナ ひらがな キーがロックされているかどうかによって、画面上に入力される文字が異なります。

K (の) キーを押した場合

- カタカナ ひらがな キーがロックされている場合　… の と入力される
- カタカナ ひらがな キーがロックされていない場合… K と入力される

▶ P.22 アルファベットの大文字と小文字

◆入力して変換しましょう

入力方法は決まりましたか？
漢字かな交じり文（漢字とひらがなが交じった文）を作成する過程は、入力・変換・確定の3段階に分けることができます。
入力したひらがな文を、スペースキーを押して漢字かな交じり文にすることを **変換する** といいます。
変換の結果が正しければ、Enterキーを押します。これを **確定する** といいます。
本書では、連文節かな漢字変換モードで、入力・変換を説明します。
連文節かな漢字変換モード とは、ローマ字漢字入力（またはカナ漢字入力）で入力した文字を、漢字かな交じり文に変換するモードの1つです。

ローマ字漢字入力をする場合は、本書のP.53 ローマ字・かな対応表 を参照してください。

◆入力して変換してみましょう

1. 「こうえんをさんぽする」と入力する

ローマ字漢字入力
K O U E N N W O
S A N N P O S U R U
- 「ん」を入力するには、Nキーを2回続けて押します。

カナ漢字入力
こ う え ん を さ ん ほ ゜ す る
カナ漢字入力の場合は、カタカナ ひらがな キーをロックしたまま入力します。
- 「を」を入力するには、Shiftキーを押したまま わ キーを押します。
- 「ぽ」を入力するには、ほ キーを押した後、゜キーを押します。

入力をまちがえた場合 ▶ P.15 文字を訂正しましょう

こうえんをさんぽする

※▌はカーソルを表します。カーソルの表示はアプリケーションによって異なります。

2. スペースキーを押す

公園を散歩する

漢字かな交じり文に変換されます。

3. Enter キーを押す

公園を散歩する

変換した文字が確定されます。

入力したい漢字に変換されない

スペースキーで漢字に変換したとき、読みが同じで意味や表記の異なる同音語が表示される場合があります。その場合は、再度スペースキーを押すと他の候補が表示されます。なお、変換候補の数が多いときは、候補の一覧が表示されます。

公園

➡ スペースキー

候補の一覧が表示されたものを **候補ウィンドウ** と呼びます。
候補ウィンドウ内の反転は、スペースキーで次の候補へ移動します。

句読点を入力する

句点　●ローマ字漢字入力の場合…。キーを押します。
　　●カナ漢字入力の場合　…Shift キーを押したまま る キーを押します。
読点　●ローマ字漢字入力の場合…、キーを押します。
　　●カナ漢字入力の場合　…Shift キーを押したまま ね キーを押します。

◆文字を訂正しましょう

まちがえた文字を正しい文字に訂正します。入力途中や変換中あるいは変換後と、どの時点でも訂正することができます。

「こうえんおさんぽする」を「こうえんをさんぽする」に訂正してみましょう。

◆変換前にまちがいを訂正してみましょう

スペースキーを押して変換する前にまちがいに気づいたときは、次のように訂正します。

1. 「こうえんおさんぽする」と入力する

こうえんおさんぽする

2. ←キーを5回押してカーソルを「さ」の上に移動する

こうえんおさんぽする

3. Backspaceキー、または Ctrl+H(く)キーを1回押す

こうえんさんぽする

Backspaceキー、またはCtrl+H(く)キーを1回押すと、カーソルの左横の文字が1文字削除されます。

4. カーソルの位置はそのままで「を」を入力する

こうえんをさんぽする

5. スペースキーで変換する

公園を散歩する

6. Enterキーで確定する

公園を散歩する

◆変換後にまちがいを訂正してみましょう

スペースキーで変換した後、Enterキーで確定する前にまちがいに気づいたときは、次のように訂正します。

1. 「こうえんおさんぽする」と入力し、スペースキーを押す

公園お散歩する

2. Backspaceキー、または Ctrl+H（く）キーを押す

こうえんおさんぽする

変換する前の状態に戻ります。

3. ←キーを5回押してカーソルを「さ」の上に移動する

こうえんおさんぽする

4. Backspaceキー、または Ctrl+H（く）キーを1回押して「お」を削除する

こうえんさんぽする

5. カーソルの位置はそのままで「を」を入力する

こうえんをさんぽする

6. スペースキーで変換し、Enterキーで確定する

公園を散歩する

◆確定後にまちがいを訂正してみましょう

変換した文字を[Enter]キーで確定した後でまちがいに気づいたときは、次のように訂正します。

1.「こうえんおさんぽする」と入力し、スペースキーで変換後、[Enter]キーで確定する

公園お散歩する▌

2. [←]キーでカーソルを「お」の右横に移動する

公園お▌散歩する

3. [Backspace]キー、または[Ctrl]+[H](く)キーを1回押して文字を削除する

公園▌散歩する

4.「を」を入力し、[Enter]キーで確定する

公園を▌散歩する

◆文節の区切り方を修正しましょう

長めの読みを入力してスペースキーを押すと、文節の区切り方がまちがって変換されることがあります。その場合は、変更する文節の前まで、↓キーで確定します。そして、←・→キーで文節の区切り方を修正します。

1. 「わたしは、きょうはいしゃにいきました。」と入力します	わたしは、きょうはいしゃにいきました。
2. スペースキーで変換します	私は、今日は医者にいきました。
3. ↓キーで、文節「私は、」を確定します	私は、今日は医者にいきました。
4. ←キーで、文節の区切り方を「きょう」に修正します	私は、きょうはいしゃにいきました。
5. スペースキーで変換します	私は、今日歯医者にいきました。
6. ↓キーで、正しく変換された文節「今日」を確定します	私は、今日歯医者にいきました。
7. ↓キーで、正しく変換された文節「歯医者に」を確定します	私は、今日歯医者にいきました。
8. スペースキーで変換します	私は、今日歯医者に行きました。
9. Enterキーで確定します	私は、今日歯医者に行きました。

文節ごとに確定する

↓キーを使うと、変換した文字列を前から1文節ごとに確定できます。

文節 とは、文を不自然にならない程度に小さく区切った単位のことです。少し長い文章を入力してスペースキーで変換すると、文節ごとに反転カーソルがかかります。

◆いろいろな文字を入力しましょう

◆空白を挿入しましょう

確定した文字と文字の間にスペースキーで空白を挿入します。

1. 空白を挿入したい位置「石」の左横にカーソルを移動する

担当▌石原祐子

2. スペースキーを1回押す

担当　▌石原祐子

◆改行しましょう

次の行の先頭にカーソルを移動させることを、改行といいます。

1. 改行を挿入したい位置「子」の右横にカーソルを移動する

担当　石原祐子▌

2. Enter キーを押して改行する

次の行にカーソルが移動します。

担当　石原祐子
▌

◆括弧を入力しましょう

括弧は次の方法で入力します。

1. Shift キーを押したまま、(・) キーを押す

(　　)

カナ漢字入力の場合は、カタカナ ひらがな キーを押してロックを解除してから入力します。

2. Enter キーで確定する

(　　)▌

いろいろな括弧を入力する
「 や (を入力して、スペースキーを押すと、『・【・[などいろいろな種類の括弧に変換できます。

◆カタカナを入力しましょう

カタカナを入力します。
単語によっては、スペースキーを押しただけでカタカナに変換されるものがあります。
スペースキーでカタカナに変換されない単語は、F7キーまたはCtrl+I(に)キーで全角、F8またはCtrl+O(ら)キーで半角のカタカナに変換できます。

1. ローマ字漢字入力で
S Y U N O ー K E R I
N N G U と入力する

しゅのーけりんぐ

カナ漢字入力の場合は、カタカナ ひらがな キーをロックしたまま入力します。

2. F7 キー、または
Ctrl+I(に)キーを押す

シュノーケリング

3. Enter キーで確定する

シュノーケリング

入力した文字をカタカナ・アルファベット・ひらがなに変換する／後変換（あとへんかん）

入力中・変換中の文字を、ファンクションキーを使ってカタカナやアルファベット・ひらがなに変換することを **後変換（あとへんかん）** といいます。後変換した文字は、辞書学習機能によって自動的に登録されるので、次回から通常の入力・変換操作で変換できるようになります。次のキーを押すと、カタカナやアルファベットなどに変換できます。

ひらがなに変換する	F6 キー、Ctrl+U (な) キー
全角カタカナに変換する	F7 キー、Ctrl+I (に) キー
半角カタカナに変換する	F8 キー、Ctrl+O (ら) キー
全角アルファベットに変換する	F9 キー、Ctrl+P (せ) キー
半角アルファベットに変換する	F10 キー、Ctrl+@ キー

◆アルファベットを入力しましょう

アルファベットを入力します。
半角のアルファベットを入力するには、入力した文字をあとから半角のアルファベットに変換する方法と、あらかじめ半角入力モードに切り替えてから入力する方法があります。半角入力モードとは、文字入力の際、キーボード上の文字や数字・記号を半角で入力するモードのことです。
ここでは、半角入力モードで「Royal Garden」と入力してみましょう。

1. F10 キーを1回押して半角入力モードに切り替える

ATOKパレットの表示が に変わったことを確認します。
に戻すときは、F10 キーを3回押します。

2. R O Y A L □ G A R D E N と入力する

Royal Garden

L キーのあとにスペースキーを押して空白を挿入します。
Shift キーを押したまま入力すると、大文字のアルファベットを入力できます。

カナ漢字入力の場合は、カタカナ ひらがな キーを押してロックを解除してから入力します。

半角入力モードでは、文字が確定した状態で入力されるので、Enter キーを押して確定する必要はありません。また、スペースキーで漢字に変換することはできません。

アルファベットに変換するときの便利な機能

通常の入力モードで入力した文字をアルファベットに変換したいときは、入力後、確定する前にF10キー、またはCtrl+@キーを押します。押すごとに半角アルファベットで 小文字→大文字→最初の1文字だけ大文字→小文字（または、大文字→小文字→最初の1文字だけ大文字→大文字）と変換されます。

F9キー、またはCtrl+P(せ)キーでは、全角のアルファベットで同様に変換されます。

F10キー、またはCtrl+@キーを押した場合

F9キー、またはCtrl+P(せ)キーを押した場合

アルファベットの大文字と小文字

Caps Lock 英数キー、またはShift＋Caps Lock 英数キーを押すごとに、入力するアルファベットの大文字／小文字が切り替わります。

- 大文字にする場合…Caps Lock 英数キー、またはShift＋Caps Lock 英数キーを押してロック状態にする
- 小文字にする場合…Caps Lock 英数キー、またはShift＋Caps Lock 英数キーをもう一度押してロックを解除する

◆数字を入力しましょう

数字を入力します。数字の入力には、キーボード上部にある数字が書かれているキーを使います。

1. 2 0 0 0 / 1 0 / 1 と入力する

２０００／１０／1

カナ漢字入力の場合は、カタカナ ひらがなキーを押してロックを解除し、Caps Lock 英数キーを押してロックしてから入力します。

2. Enterキーで確定する

２０００／１０／1

半角の数字を入力する
数字を入力し、確定する前にF8キーまたはCtrl+O(ら)キーを押すか、F10キーを押して半角入力モードで入力します。

ヘルプを利用する

ヘルプとは、ATOK Xのすべての機能について、画面上で解説を確認できるようにしたものです。
ATOK Xの機能や操作方法がわからないときや、操作中に困ったときなどに、目的の解説を画面上に呼び出してご利用ください。

◆目次から解説を探す

ATOKパレットの ? [ヘルプ]をクリックするとヘルプの目次画面が表示されます。

◆ダイアログボックス内の設定項目について調べる

環境設定・カスタマイザ・辞書ユーティリティのダイアログボックスを表示しているときに、ダイアログボックス内の ヘルプ をクリックすると、ダイアログボックス内の設定項目の解説が表示されます。
また、各設定項目にマウスカーソルを移動するとその設定項目の説明が画面上に表示されます。

◆文字パレット内の設定項目について調べる

文字パレットの[ヘルプ-ヘルプ]を選択し、見たいタイトルをクリックしていくと、解説が表示されます。

ヘルプを利用するには、HTMLブラウザが必要です。

ATOK Xの便利な機能

- ATOKパレットやATOKメニューを使う **26**
- 入力するときの便利な機能 **28**
- 変換するときの便利な機能 **32**
- 入力を支援する機能 **34**

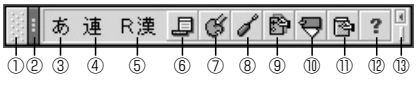
ATOKパレットやATOKメニューを使う

ATOKパレットやATOKメニューは、ATOK Xを操作するときの基本になります。また、ATOKパレットは、文字入力モードや漢字変換モードなど、文字の入力・変換に必要な情報を表示しています。

▶ ヘルプ ATOKパレット・メニュー・入力モード

◆ATOKパレットのボタンを操作する

ATOKパレットには、入力モードや、文字の入力・変換に必要な情報が表示されています。ボタンをクリックすると、状態を変更することができます。また、文字パレットや環境設定などを起動したり、ATOKメニューを表示したりすることもできます。



①グリップ
この領域でマウスのボタンを押し、そのままドラッグするとATOKパレットを移動できます。

②縦／横表示切り替え
クリックするたびにATOKパレットを縦型／横型に切り替えます。

③入力文字種
ひらがなや全角カタカナなど、どのような文字が入力できるかを表示します。クリックすると、入力文字種を変更できます。

④漢字変換モード
入力した文字を漢字かな交じり文に変換する方法を表示します。クリックすると、連文節かな漢字変換や複合語かな漢字変換など、漢字変換モードを変更できます。

⑤文字入力モード
ローマ字漢字入力・カナ漢字入力や半角入力など、どのような文字入力モードで入力できるかを表示します。クリックすると、漢字入力・半角入力・記号入力など、文字入力モードを変更できます。

⑥メニュー
一時的に入力・変換方法を切り替えたり、環境設定や辞書ユーティリティなどのツールを起動したりするためのATOKメニューを表示します。

ATOKパレットが表示されていない

Ctrl＋スペースキーを押すと、ATOKパレットが表示され、使えるようになります。

⑦文字パレット
☆〒のような記号や、読みのわからない漢字などを簡単に入力できる文字パレットを起動します。

⑧環境設定
入力・変換の方法を変更して、使う人に合った操作環境を構築できるATOK X環境設定を起動します。

⑨カスタマイザ
キーの割り付けや、ローマ字漢字入力の場合のローマ字とかなの対応規則を設定できるATOK Xカスタマイザを起動します。

⑩単語登録
辞書に単語を登録できるATOK X単語登録を起動します。

⑪辞書ユーティリティ
辞書への単語や用例の登録など、辞書のメンテナンスを行うことができるATOK X辞書ユーティリティを起動します。

⑫ヘルプ
ATOK Xのヘルプを起動します。

⑬サイズ変更
右上のボタンをクリックすると、ATOKパレットの表示が最大になります。もう一度クリックすると、最大化する前の状態に戻ります。
右下のボタンをドラッグすると、ボタンの表示数を変更できます。

◆ATOKメニューを表示する

ATOKパレットの [メニュー]をクリックすると、ATOKメニューが表示されます。ATOKメニューからは、入力や変換の状態を変更したり、記号や漢字を簡単に入力するためのパレットや操作環境を整えるツールなどを起動したりできます。
なお、ATOKメニューで変更した入力や変換の状態は、設定時に編集している文書に対してだけ反映されます。文書を閉じると設定した内容は解除されるので、一時的に変更する場合に使用します。

ショートカットキー
Ctrl＋F10キー

ATOKパレットが表示されていない
Ctrl＋スペースキーを押すと、ATOKパレットが表示され、使えるようになります。

いつも同じ操作環境でATOK Xを使う
ATOK X環境設定で入力や変換の状態を変更すると、次にATOK Xを起動したときも、同じ設定で使用できます。
ATOK X環境設定は、ATOKパレットの [環境設定]をクリックして起動します。

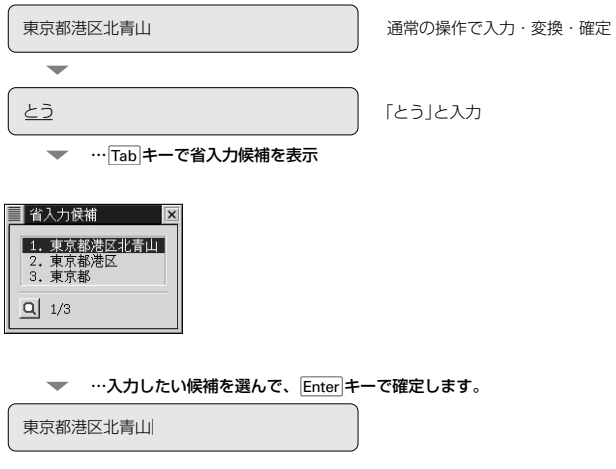
ATOKメニューの各項目について
▶ ヘルプ ATOKパレット・メニュー・入力モード-ATOKメニュー

入力するときの便利な機能

以前に入力した文字列を短い読みで再入力したり、確定のリピートで同じ文字を再入力するなど、入力するときの便利な機能を紹介します。

◆以前に入力した文字列を短い読みで再入力する／省入力

以前に入力した文字列を短い読みで再度入力できます。この機能を **省入力** と呼びます。実際よりも少ない読みで目的の文字列を入力でき、同じ単語や文を何度も入力する場合に便利です。



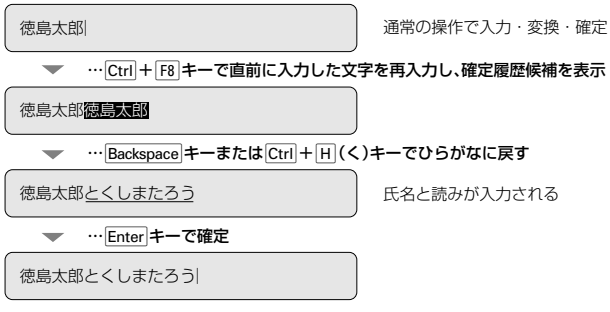
通常の変換候補から省入力の変換候補へ切り替える

1文節単位で入力・変換した場合、候補ウィンドウの0番に、省入力の変換候補が表示されます。0.＊＊＊ を選択すると、省入力候補の一覧が表示されます。通常の候補の表示に戻すには、もう一度 0.＊＊＊ を選択します。

＊＊＊には、各候補の先頭候補が表示されます。

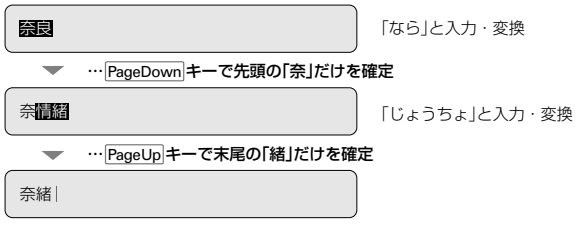
◆以前に入力した文字と同じ文字を再入力する／確定のリピート

文字を確定した後にCtrl＋F8キーを押すと、以前に入力した文字の履歴が確定履歴候補ウィンドウに表示されます。この機能を **確定のリピート** と呼びます。これまでの入力作業で確定した単語の履歴を一覧表示し、編集中のアプリケーションに自由に入力できます。変換しづらい名前を何度も入力する場合や、氏名と読みを続けて入力する場合などに使うと便利です。



◆先頭・末尾の1字だけを確定する

口頭で人名を伝えるとき、その漢字が含まれている単語を使って説明することがあります。例えば、「奈緒（なお）」という名前では、奈良の「奈」と情緒の「緒」と説明します。文字を入力するときに、PageDown キーで先頭の1字、PageUp キーで末尾の1字だけを確定できます。



別の操作方法
Shift＋Ctrl＋R（す）キー

略語を入力する
例えば、「かいはつきかく」と入力してスペースキーを押すと「開発企画」と変換されます。そのあと PageDown キーを2回押せば「開企」と確定できます。このように略語を入力する場合にも便利です。

よく入力する固有名詞は単語登録する
人名などの固有名詞を頻繁に入力するなら、単語登録しておくと便利です。
例えば、「奈緒」という名前を「なお」という読みで登録しておけば、「なお」と入力してスペースキーを押して変換すると「奈緒」に変換できます。
▶ P.43 辞書に単語を登録する

◆入力した数字を自動で半角にする

入力した数字が自動的に半角になるように設定します。

1. ATOKパレットの [環境設定]をクリックします。
   ATOK X環境設定が起動します。
2. 入力・変換1シート で、半角全角変換 をオンにします。
3. 右横の 設定 をクリックします。
   半角全角変換設定ダイアログボックスが表示されます。
4. 数字 で 半角、入力中文字への適応拡張 で する を選択し、 OK をクリックします。

   ATOK X環境設定ダイアログボックスに戻ります。

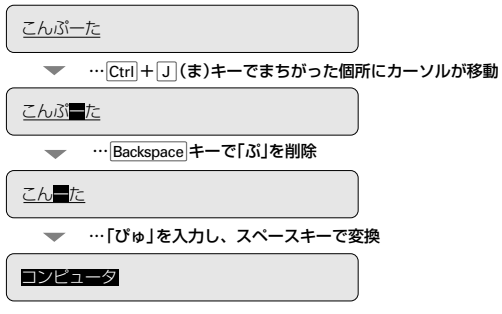
5. OK をクリックします。

入力したカタカナ・英字・記号を半角にするには、同様の操作で、カタカナ・英字・記号を 半角 に設定します。また、入力した文字を自動的に全角にするには、同様の操作で 全角 に設定します。

テンキーから入力した文字を自動で半角にする
▶ P.47

◆入力ミスした個所にカーソルを移動する

入力中・変換中に入力ミスに気づいたときは、Ctrl＋J（ま）キーを押すと、入力ミスの可能性の高い個所にカーソルが移動します。続けてCtrl＋J（ま）キーを押したときや入力ミスを判断できなかったときには、入力した読みの先頭→末尾 の順にカーソルが移動します。



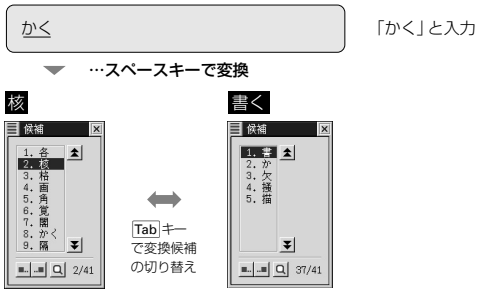
変換するときの便利な機能

候補の表示順を並べ替えたり、郵便番号を住所に変更したりするなど、変換するときの便利な機能を紹介します。

▶ ヘルプ 目的で探す入力と変換–変換・確定についての便利な機能

◆正しい変換候補をすばやく選択する

候補ウィンドウを表示した状態でTabキーを押すと、語幹長の異なる変換候補にカーソルが移動します。候補数が多いときに何度もスペースキーを押さずに、目的の文字を探せます。

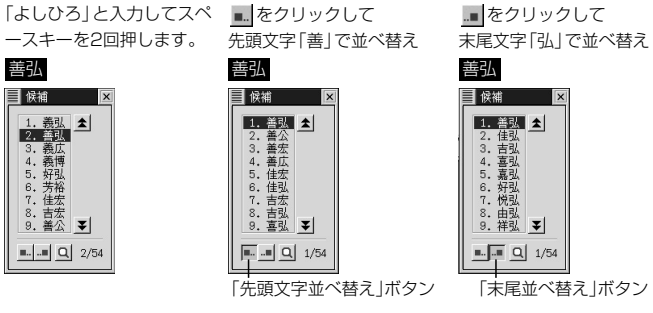


語幹とは

語幹 とは活用しない部分です。例えば、「買う」は、「買えば」、「買わない」……と活用するので、語幹は「か」です。これに対して、「各」、「核」は活用しないので語幹は「かく」ということになります。

◆候補の表示順を並べ替える

候補ウィンドウ内の候補は、[先頭文字並べ替え]や[末尾文字並べ替え]をクリックして並べ替えることができます。それぞれをクリックすると、選択している単語と同じ先頭文字または末尾文字の候補が、候補ウィンドウの先頭にまとめて表示されます。候補数の多い人名を入力する場合などに便利です。



ショートカットキー

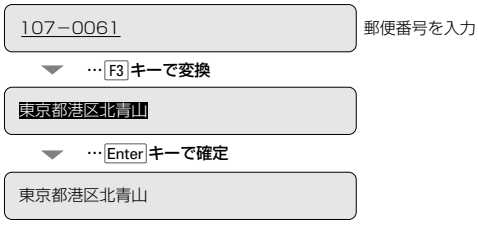
先頭文字並べ替え Ctrl + PageDown キー
末尾文字並べ替え Ctrl + PageUp キー

並べ替えた変換候補をすばやく選択する

候補の表示順を並べ替えた後、Tabキーを押すと先頭／末尾文字の異なる変換候補にカーソルが移動します。

◆郵便番号を住所に変換する

郵便番号辞書を使って、入力した郵便番号を該当する住所に変換することができます。入力する郵便番号は、7桁・5桁・3桁のどの郵便番号にも対応しています。
辞書セット3に設定されている郵便番号辞書を使い、入力した郵便番号を該当する住所に変換できます。



「辞書ファイルが設定されていません」というメッセージが表示された

ATOK X環境設定の 辞書･学習シート で 辞 書 セ ッ ト 3 に 郵 便 番 号 辞 書 (atok12y7.dic)が設定されているかどうか確認します。ATOK X環境設定は、ATOKパレットの [環境設定]をクリックして起動します。

入力を支援する機能

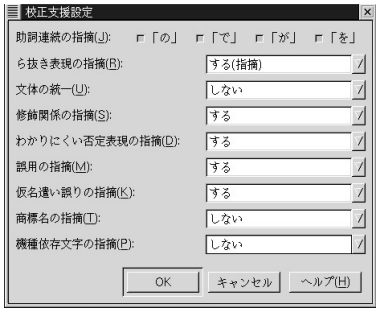
ら抜き表現をチェックしたり、候補ウィンドウに表示される単語にコメントを付けたり、ATOK Xがさらに便利になる機能を紹介します。

▶ ヘルプ 目的から探す入力と変換-入力を支援する機能

◆ら抜き表現や文体の統一をチェックして指摘する

「的を得る」→「当を得る／的を射る」などまちがえやすい表現や、仮名遣いの誤りを入力段階で指摘し、より美しい日本語表現の作成を支援します。また、電子メール（E-Mail）やパソコン通信時に注意すべき機種依存文字の指摘を行うこともできます。

1. **ATOKパレットの [環境設定]をクリックします。**
   ATOK X環境設定が起動します。
2. **入力・変換1シート で、校正支援 をオンにします。**
3. **右横の 設定 をクリックして、詳細設定を行います。**

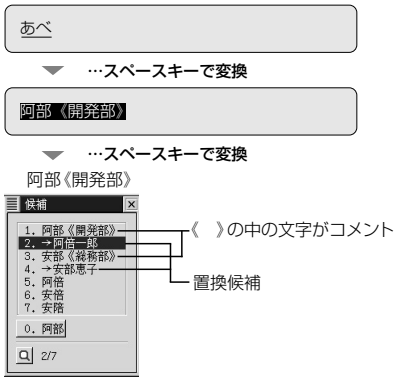


ら抜き表現や文体の統一をチェックして指摘する

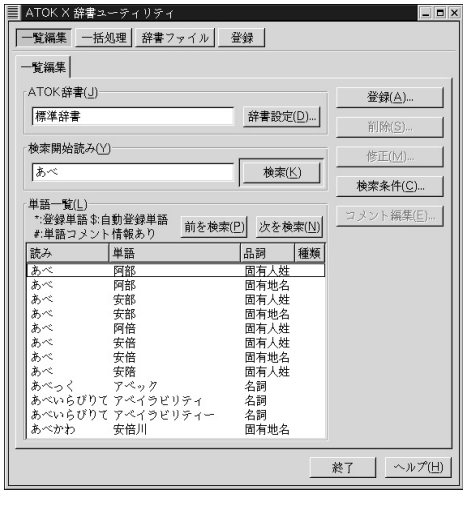
▶ ヘルプ 目的で探す入力と変換–入力を支援する機能–ら抜き表現や文体の統一などをチェックして指摘する

◆単語にコメントを設定する

変換候補の単語に独自のコメントを付けられます。また、置換候補も設定できます。例えば、「あべ」さんという姓の場合、「安部」「阿部」など複数の表記があります。単語コメント機能で、「総務部」、「開発部」のように表示すれば、入力ミスを防げます。また、置換候補を「安部恵子」、「阿部一郎」のように設定すると、すばやく入力できます。



1. **ATOKパレットの [辞書ユーティリティ]をクリックします。**
   ATOK X辞書ユーティリティが起動します。
2. **一覧編集 をクリックします。**
3. **ATOK辞書に、コメントを登録したい辞書セットまたは辞書ファイルを設定します。**
   辞書設定 をクリックすると、辞書セットまたは辞書ファイルを選択することができます。
4. **検索開始読み に、コメントを登録したい単語の読みを入力します。**
5. **検索 をクリックします。**
   単語一覧 に検索結果が表示されます。



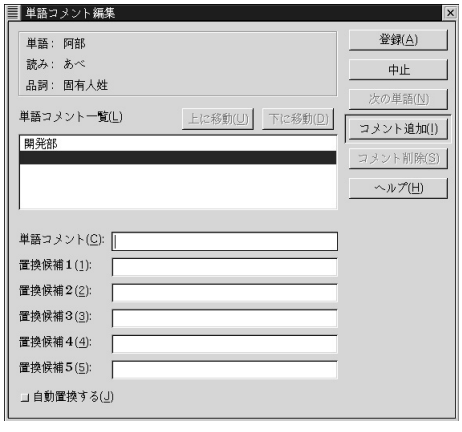
コメントや置換候補が表示されない

単語にコメントを設定して変換しても、コメントや置換候補が表示されないことがあります。その場合は、ATOK X環境設定の 入力·変換1シートで、単語コメント をオンにします。ATOK X環境設定は、ATOKパレットの [環境設定]をクリックして起動します。

コメントの表示方法を変更する

ATOK X環境設定の 入力·変換2シート の コメント境界 で、コメントを表示する括弧を変更できます。

6. **単語一覧 で、コメントを登録したい単語をクリックします。**
7. **コメント編集 をクリックします。**
   単語コメント編集ダイアログボックスが表示されます。
8. **単語コメント にコメントの内容を入力します。**
9. **コメント追加 をクリックします。**
   単語コメント一覧 に入力したコメントが表示されます。



10. **登録 をクリックします。**
    単語にコメントが登録されます。

いろいろな文字を入力する

- 記号や顔文字を入力する……38
- 読み方のわからない漢字や難しい文字を入力する……40
- 辞書に単語を登録する……43

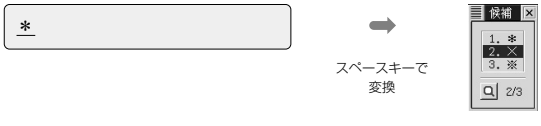
記号や顔文字を入力する

αヲなどの記号を入力することができます。また、E-Mailでよく利用される顔の表情を表した文字列も入力できます。いくつかの方法があるので、使いやすい方法で入力してください。

◆記号を入力する

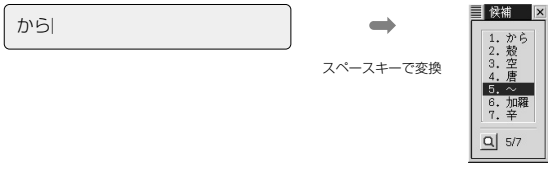
◆似ている記号に変換する

キーボード上の記号の付いたキーを押し、スペースキーを押すと、その記号に似ている記号に変換できます。



◆読みを入力して記号に変換する

記号の読み方を「から」「ゆうびん」「さんかく」と入力してスペースキーを押して変換すると、「〜」「〒」「△」などの記号が入力できます。



キーボードから入力できる文字の一覧

キーボード上の記号を入力し、似ている記号に変換できます。

「<」と入力して「<・≦・≪」に、「=」と入力して「=・≠・≡・≒」に、それぞれ変換できます。

▶ ヘルプ 付録–通常の入力・変換操作で入力できる記号

通常の入力・変換操作で入力できる記号

▶ ヘルプ 目的で探す入力と変換–文字を入力する–顔文字を入力する

◆記号の一覧から選んで入力する

ATOKパレットの［文字パレット］をクリックして文字パレット起動します。
記号表シート の左側で、記号・マーク、括弧、矢印……などの種類を選択し、右側の記号一覧から入力したい記号を選択して 確定 をクリックします。

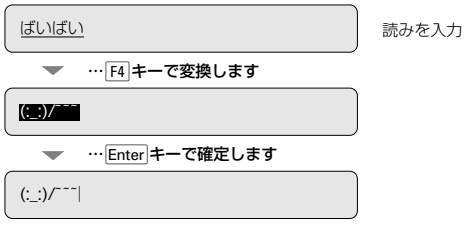
ショートカットキー
Ctrl＋F11キー

記号入力モードに切り替えて入力する
F10キーを押して記号入力モードに切り替えて、記号を入力することもできます。

◆顔文字を入力する

◆読みを入力して顔文字に変換する

フェイスマーク辞書を使うと、読みを入力して顔文字に変換できます。



「辞書ファイルが設定されていません」というメッセージが表示された
ATOK X環境設定の 辞書･学習シート で 辞書セット4 にフェイスマーク辞書(facemi12.dic)が設定されているかどうか確認します。ATOK X環境設定は、ATOKパレットの［環境設定］をクリックして起動します。

顔文字の読みを調べる
▶ ヘルプ 付録–読みで入力できる顔文字

読み方のわからない漢字や難しい文字を入力する

入力したい漢字の読みがわからないとき、候補ウィンドウに表示されない特殊な漢字を入力したいときは、文字パレットを使って、画数や部首や読みから目的の漢字を探して入力したりできます。

◆部首名や画数から漢字を探して入力する

文字パレット を使えば、部首名や画数から漢字を探して入力できます。また、部首の名前がわからなくても、部首の一覧から目的の部首を選んで漢字を探せます。

1. **ATOKパレットの [文字パレット]をクリックします。**
   文字パレットが起動します。
2. **漢字検索シート に切り替えます。**
   漢字検索シート では、最大4つの部首を設定して、条件に合う漢字を検索できます。
3. **部首を設定します。**
   部首 に部首名を入力します。
   設定 をクリックすると、部首設定ダイアログボックスが表示され、一覧から部首を選択できます。

設定 をクリックして、一覧から部首を選択することもできる

文字パレット

▶ ヘルプ 目的で探す入力と変換-文字を入力する-読み方のわからない漢字や旧字体など、難しい漢字を入力する

ショートカットキー
Ctrl + F11 キー

漢字検索での「部首」とは

漢字検索の検索条件で使用される「部首」とは、その漢字を構成している各部分のことです。例えば 米（こめ） と 女（おんな） を設定すると、数 などの漢字を検索できます。

部首の位置を指定する

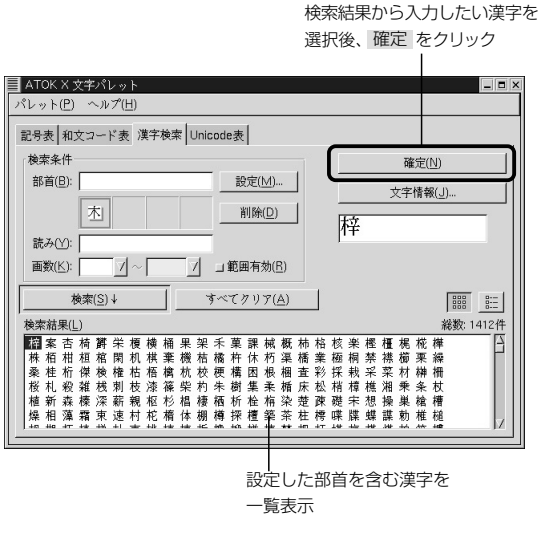
部首の位置を指定して漢字を検索できます。例えば、部首設定ダイアログボックスの 部首名シート で 魚（さかな） を探し、位置 で 右 を設定して OK をクリックします。 検索 をクリックすると、「漁」・「櫓」・「艫」などが一覧表示されます。

4つの設定シートには、次のような機能が用意されています。

部首一覧	部首の画数順に一覧を表示します。画数 に数字を入力して ジャンプ をクリックすると、該当する画数の部首が表示されます。
部首画数	部首の画数順に部首名付きで一覧を表示します。画数 に数字を入力して ジャンプ をクリックすると、該当する画数の部首が表示されます。
部首名	部首の名称を50音順に一覧表示します。読み に部首名を入力して ジャンプ をクリックすると、該当する名称の部首が表示されます。
漢字参照	探したい部首が含まれている漢字から、部首を検索できます。漢字 に、探したい部首が含まれている漢字を入力して 検索 をクリックすると、その漢字を構成している部首が一覧表示されます。

4. 検索 をクリックします。

設定した部首を持つ漢字が検索され、検索結果 に一覧表示されます。



5. 漢字を選択し、確定 をクリックします。

選択した漢字がカーソル位置に入力されます。

6. [パレット-閉じる]を選択して、文字パレットを終了します。

漢字の読みや異体字を調べる

漢字の読み(音訓)・画数・部首・異体字などの情報を調べるには文字情報、または [詳細] をクリックします。
異体字とは意味と読みが同じで形が異なる漢字のことです。
(例:国・圀・國、万・萬など)

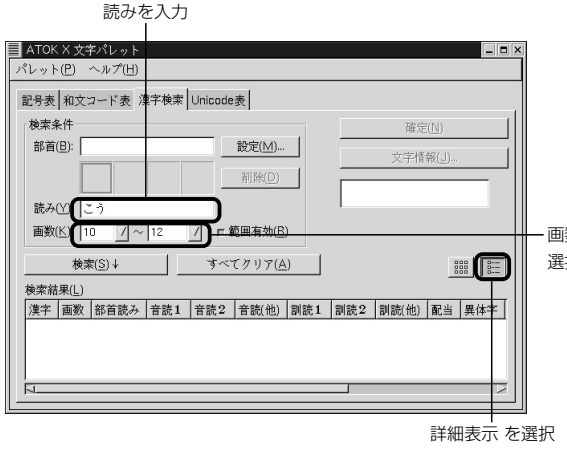
漢字を入力して情報を調べる

読みがわかっている漢字は、[パレット-単漢字情報] で、直接漢字を入力して、異体字やコード番号などを調べることができます。

◆漢字の読みや画数で探す

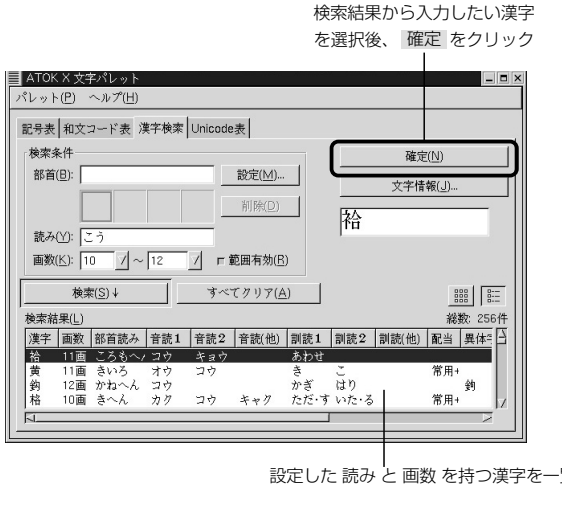
文字パレットを使えば、漢字の読みや画数から漢字を検索できます。
複数の条件を設定して検索することもできます。

1. ATOKパレットの [文字パレット]をクリックします。
   文字パレットが起動します
2. **漢字検索シート に切り替えます。**
3. **読み や 画数 を設定します。**



画数を範囲で指定する
範囲有効 をオンにします。

4. **検索 をクリックします。**
   設定した条件に合う漢字を検索し、検索結果に詳細表示します。
5. **漢字を選択し、確定 をクリックします。**
   選択した漢字がカーソル位置に入力されます。



6. **[パレット-閉じる]を選択して、文字パレットを終了します。**

辞書に単語を登録する

人名や会社名、よく使用することばや記号などは、あらかじめ登録しておくと、入力・変換の手間が省けるので便利です。

▶ ヘルプ 辞書を使いこなす–辞書に単語を登録する

◆短い読みで登録する／単語登録

ここでは「パーソナルコンピュータ」という文字を「ぱそこん」という読みで登録する方法を解説します。

1. **ATOKパレットの [単語登録]をクリックします。**
   単語登録ダイアログボックスが表示されます。
2. **単語 に登録したい単語を入力します。**
   ここでは単語 に パーソナルコンピュータ と入力します。
3. **読み と 品詞 を設定します。**
   読み に ぱそこん と入力し、品詞 で 名詞 を選択します。辞書 は、登録先の辞書セットを設定します。通常は 標準辞書 のままでかまいません。

4. **OK をクリックします。**
   「ぱそこん」と入力してスペースキーを押すと、「パーソナルコンピュータ」と変換されるようになります。

ショートカットキー
Ctrl＋F7キー

連続して単語を登録する
[連続登録オフ]をクリックすると OK が 登録 に変わります。必要な項目を入力後、登録 をクリックすると単語が登録され、引き続いて単語登録ができる状態になります。

辞書に登録されている単語を削除する
▶ P.49 辞書ユーティリティを使って単語の一覧から削除する
▶ P.49 変換中に単語を削除する

◆複数の単語をまとめて登録する

単語をまとめて登録したいときは辞書ユーティリティが便利です。ここでは、辞書ユーティリティを使って、単語をまとめて登録する方法について解説します。

1. **ATOKパレットの [辞書ユーティリティ]をクリックします。**
   ATOK X辞書ユーティリティが起動します。
2. **一括処理 をクリックし、単語一括処理シート を選択します。**
3. **ATOK辞書 に、単語を登録する辞書セットまたは辞書ファイルを設定します。**
   辞書設定 をクリックすると、辞書設定ダイアログボックスが表示され、辞書セットまたは辞書ファイルを一覧から選択することができます。
4. **単語ファイル に、登録元の単語ファイル名（テキスト形式）を入力します。**
5. **登録 をクリックします。**
6. **閉じる をクリックします。**
7. **終了 をクリックします。**

操作環境を整える

- 入力・変換の方法を変更する 46
- 変換に使用する辞書を設定する 48
- 辞書に登録されている単語を削除する 49
- キー割付を設定する 50
- ローマ字とかなの対応規則を設定する 52

入力・変換の方法を変更する

ローマ字漢字入力、またはカナ漢字入力を選択する、漢字変換モードを選択する、校正支援（JUST MEDDLER2）の設定をする、話しことばを優先して変換するなど、入力や変換の方法を変更できます。

▶ ヘルプ 使いやすい環境に設定する–入力・変換方法の詳細を設定する

◆話しことばで入力する

「言っちゃえば」「できたのさ」「書かなくっちゃ」などの口語体を優先して変換できます。

ATOK X環境設定ダイアログボックスの 入力・変換1シート の 口語体優先 で する を選択します。

クリックしてATOK X環境設定ダイアログボックスを閉じる

ショートカットキー
Ctrl＋F12キー

ATOK X環境設定ダイアログボックスを表示する

●ATOKパレットの [環境設定]をクリックします。

一時的に入力・変換方法を切り替える

一時的に入力・変換方法を切り替えるには、ATOKパレットの [メニュー]をクリックして表示されるメニューで変更します。ATOK X環境設定ダイアログボックスで変更した内容は、次回起動時にも有効です。

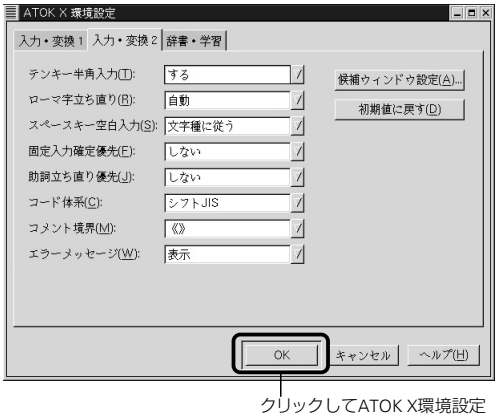
◆住所や氏名などを続けて入力する

入力した文字が、辞書に登録されている固有名詞に、優先して変換されます。住所や氏名などを続けて入力する場合に便利です。ATOK X環境設定ダイアログボックスの 入力・変換1シート の 漢字変換モード で 複合語 を選択します。

クリックしてATOK X環境設定
ダイアログボックスを閉じる

◆テンキーから入力した文字を自動で半角にする

テンキーから入力した文字を自動的に半角にするように設定できます。ATOK X環境設定ダイアログボックスの 入力・変換2シート の テンキー半角入力 で する を選択します。



クリックしてATOK X環境設定
ダイアログボックスを閉じる

氏名や地名を優先して変換する

入力・変換1シート の 複合語変換詳細 では、入力した文字を優先して変換するモードの設定ができます。

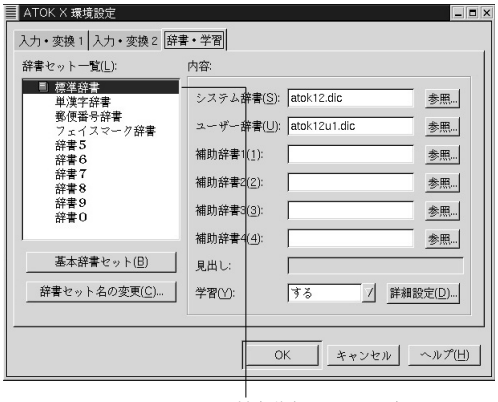
- ●固有名詞優先
  …氏名・地名・商品名・組織名など固有名詞として辞書に登録されている単語を優先して変換する
- ●氏名優先
  …固有名詞の中で氏名を優先して変換する
- ●地名優先
  …固有名詞の中で地名を優先して変換する

変換に使用する辞書を設定する

入力された文字は、複数の辞書を組み合わせて、1つの辞書を使っているように変換されています。
変換に使用する複数の辞書の組み合わせを 辞書セット と呼びます。

▶ ヘルプ 辞書を使いこなす–辞書の使い方

変換に使用する辞書は、ATOK X環境設定ダイアログボックスの辞書・学習シート で設定します。辞書セットは、システム辞書・ユーザー辞書・補助辞書の3種類の辞書で構成されており、10セットまで登録できます。
また、辞書・学習シート では、辞書学習の設定もできます。学習 を する にしておくと、よく使う単語が候補ウィンドウの先頭に表示されるようになるので、変換効率を上げることができます。



基本辞書セットに設定されているものは がつく

辞書セットを構成する辞書

辞書セットは次の辞書から構成されています。

- ●システム辞書
  …文字を変換するときの中心になる辞書
- ●ユーザー辞書
  …辞書の学習や用例などの情報を書き込む辞書
- ●補助辞書
  …システム辞書で網羅できない単語を変換する辞書

基本辞書セット以外の辞書セットで変換する

▶ P.33 郵便番号を住所に変換する
▶ P.39 読みを入力して顔文字に変換する

基本辞書セットとは

基本辞書セットとは、スペースキーを押して変換する、通常の変換時に使用する辞書セットのことです。

辞書学習とは

辞書学習とは、入力した単語の用例や変換の修正結果などを記憶したり、変換候補を並べ替えたりする機能です。

変換の操作

設定した辞書セットで変換するには次のキーを使います。

- ●基本辞書セット
  …スペースキー
- ●辞書セット2〜5
  …F2〜F5キー
- ●辞書セット6〜0
  …インストール直後の設定ではキーが割り付けられていません。使用する場合はATOK Xカスタマイザでキーを割り付けます。

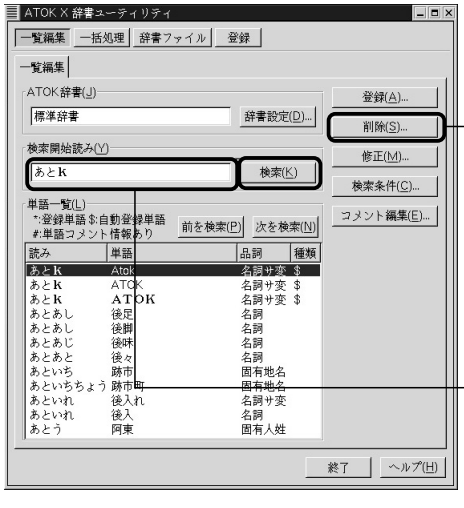
辞書に登録されている単語を削除する

辞書に登録されている不要な単語を削除して、辞書の内容を整理することができます。

▶ ヘルプ 辞書を使いこなす–辞書から単語を削除する

◆辞書ユーティリティを使って単語の一覧から削除する

1. **ATOKパレットの [辞書ユーティリティ]をクリックします。**
   ATOK X辞書ユーティリティが起動します。
2. **一覧編集 をクリックして、一覧編集シート を表示します。**
3. **ATOK辞書 に削除する単語が登録されている辞書セット名または辞書ファイル名を設定します。**
4. **検索開始読み に削除する単語の読みを入力し、 検索 をクリックします。**
   単語一覧 に単語の一覧が表示されます。
5. **単語一覧 から、削除したい単語を選択し、 削除 をクリックします。**
   削除を確認するメッセージが表示されます。
6. **はい をクリックします。**
   選択した単語が削除されます。



削除したい単語を選択後、削除 をクリック

削除する単語の読みを入力

◆変換中に単語を削除する

削除したい文字を入力し、変換中の状態で、Ctrl＋Deleteキーを押します。単語登録で登録した単語や、辞書学習によって、自動的に辞書に登録された単語を削除できます。

単語は一度削除すると、元には戻せない

単語の削除は確認のうえ、慎重に行います。

単語一覧で表示されるマークについて

単語一覧で品詞の右横に表示されるマークは単語の種類を意味します。

- なし…システム単語
  （製品出荷時に登録されているもの）
- ＊…登録単語
  （単語登録機能を利用して登録したもの）
- $…自動登録単語
  （学習によって自動的に登録されたもの）

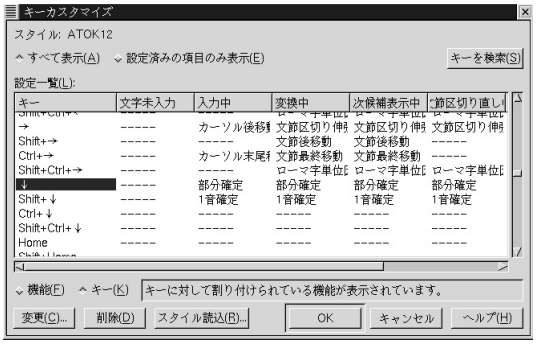
単語の読み・文字・品詞を修正する

登録単語や自動登録単語の読み・文字・品詞は 一覧編集シート の 修正 をクリックして表示される一覧編集 単語の修正ダイアログボックスで修正できます。

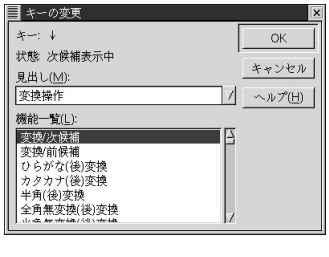
キー割付を設定する

キーに割り付けられている機能を変更したり、新しくキーに機能を割り付けたりすることができます。
ここでは、候補ウィンドウの反転表示を下に移動する場合に、スペースキーでなく[↓]キーで移動できるように変更する例を紹介します。

1. ATOKパレットの [カスタマイザ]をクリックします。
   ATOK Xカスタマイザが起動します。
2. スタイル一覧 で変更したいスタイル名を選択します。
3. キーカスタマイズ をクリックします。
4. 設定一覧の 下の キー をオンにして、キーを検索 をクリックします。
5. メッセージが表示されたら、[↓]キーを押します。
6. 設定一覧 から、[↓]キーの 次候補表示中 を選択します。



7. 変更 をクリックし、見出し で 変換操作 、機能一覧 で 変換／次候補 を選択します。



8. **OK をクリックします。**
9. **もう一度 OK をクリックします。**
   ATOK Xカスタマイザダイアログボックスに戻ります。
10. **もう一度 OK をクリックします。**

ローマ字とかなの対応規則を設定する

ローマ字漢字入力を行う場合に、ローマ字に対応するかなを使い勝手に応じて変更できます。

◆ローマ字に対応するかなを変更する

1. ATOKパレットの [カスタマイザ] をクリックします。
   ATOK Xカスタマイザが起動します。
2. スタイル一覧 から変更したいスタイル名を選択します。
3. ローマ字カスタマイズ をクリックします。
4. 設定一覧 から変更したい ローマ字 および かな を選択します。
5. 変更 をクリックします。
   ローマ字の変更ダイアログボックスが表示されます。
6. ローマ字 あるいは かな を変更し、 OK をクリックします。
   ローマ字カスタマイザダイアログボックスへ戻ります。
7. OK をクリックします。
   ATOK Xカスタマイザダイアログボックスに戻ります。
8. もう一度 OK をクリックします。

◆ローマ字の設定を、他のスタイルから読み込む

1. ATOKパレットの [カスタマイザ] をクリックします。
   ATOK Xカスタマイザが起動します。
2. スタイル一覧 から変更したいスタイル名を選択します。
3. ローマ字カスタマイズ をクリックします。
4. スタイル読込 をクリックします。
5. スタイル一覧 から読み込みたいスタイルファイルを選択して、 OK をクリックします。
   ローマ字カスタマイザダイアログボックスへ戻ります。
6. OK をクリックします。
   ATOK Xカスタマイザダイアログボックスに戻ります。
7. もう一度 OK をクリックします。

◆ローマ字・かな対応表

あ	あ A	い I	う U	え E	お O
	ぁ LA XA	ぃ LI XI	ぅ LU XU	ぇ LE XE	ぉ LO XO
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
	くぁ KWA				
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
			っ LTU XTU		
	ちゃ TYA CYA CHA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CYU CHU	ちぇ TYE CYE CHE	ちょ TYO CYO CHO
	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
			とぅ TWU		
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
	ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
	ふゃ FYA	ふぃ FYI	ふゅ FYU	ふぇ FYE	ふょ FYO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO

や	や YA	い YI	ゆ YU	いぇ YE	よ YO
	ゃ LYA XYA	ぃ LYI XYI	ゅ LYU XYU	ぇ LYE XYE	ょ LYO XYO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
わ	わ WA	うぃ WI	う WU	うぇ WE	を WO
*ん	ん NN	ん N'			
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
	ぐぁ GWA				
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
	じゃ JYA ZYA JA	じぃ JYI ZYI	じゅ JYU ZYU JU	じぇ JYE ZYE JE	じょ JYO ZYO JO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
			どぅ DWU		
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
ゔぁ	ゔぁ VA	ゔぃ VI	ゔ VU	ゔぇ VE	ゔぉ VO
っ	後ろに子音を2つ続けます [例] だった…DATTA				
	っ LTU XTU	（単独で入力するとき）			

＊“ん”はNに続いて子音（K.T.P.S.Z.J.Dなど）がくれば“ん”となります。

ATOK X for Linux

発行者――浮川和宣
発行所――株式会社ジャストシステム
〒771-0189 徳島市ブレインズパーク

©2000 株式会社ジャストシステム

本マニュアルデータは株式会社ジャストシステムの作成したものであり、このマニュアルデータの著作権は、株式会社ジャストシステムに帰属します。
以下の点も合わせてご確認ください。
1.お客様は、マニュアルデータを現状の内容のままで、画面上もしくは印刷した資料として利用することができます。
2.お客様は、マニュアルデータの内容を異なる内容に変更することはできません。マニュアルデータの一部を抜粋して編集したり、使用することはできます。その場合、編集・使用した旨の明示と、以下に示す弊社の権利表示が必要です。
(C)2001 株式会社ジャストシステム
3.お客様は、抜粋して編集したマニュアルデータを保存したり印刷したりすることができます。 ただし、これを第三者へ提供したり、貸し出すことはできません。

●「ATOK X for Linux」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK X for Linux」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
●「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
●Sun Internet/Intranet Input Method Framework（IIIMF）は、著作権によって保護されており、かつ、米国Sun Microsystems,Inc.による使用許諾に基づいて使用されるものです。
●Sun、Sun Microsystems、Sun Internet/Intranet Input Method Framework、IIIMFは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
●Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
●本製品に含まれる郵便番号辞書（7桁/5桁）は郵政省が公開したデータを元に制作されたものです。（一部データの加工を行っています）
●本製品に添付するフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。
●UnicodeはUnicode, Inc.の商標です。
●その他記載されている会社名・製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
●マニュアルの一部または全部を株式会社ジャストシステムの書面による許可なく複写、複製することは、その形態を問わず禁じます。
●マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。